

NO	内容
1	これからの杉並区に期待が持てるシンポジウムでした。これまでの経緯についてきちんと検証した上で、これからの未来について議論できる舞台を用意して欲しいと思います。それは、行政職員や区民だけでなく、さまざまな主体が参加できる場だと嬉しいです。
2	本日のシンポジウムに託児機能があったこと、大変ありがたかったです。パネルディスカッションで子育て世代の意見を吸い上げにくいとありましたが、もしきちんと意見を吸い上げたいと思っただけなのであれば、できれば児童館や子育てプラザからでもリモート会議等の設備を使って、発言できるようにして頂けるとより参加しやすいです。いつもの施設でない場所見知りでは堪えられない子もいるので、そのような方は声を届けにくいので。
3	施設再編を考えるに辺り、実際の政策課の方や岸本さんは平日の児童館へ足を運ばれたことはありますでしょうか？設備寿命・財政の観点から児童館も施設再編が必要ということは理解しますが、110人（学童生）+αの人数で通路に子供が溢れて出しており、進むのが大変な状態でした。職員は5～6名だったと思います。共働きによって放課後の居場所がない子が確実に増えているので、小学校に移動させればOKではなく、児童館にも学童機能を残して欲しいです。小学校への学童移行も継続して考えてほしいです。先生が少数でクラスの子を見れるのは、あくまで規律で縛った上で授業ができていただけだと思います。縮詰め&他に選択肢のない現状を変えていきたいです。
4	私は西荻住民ですが、善福寺児童館の再編後の取り組みにはとても満足しています。私の子供は旧態依然とした児童館には寄り付きませんが、今の学校での放課後の事業は毎日がイベントのように感じているようで、かなりの頻度で行っています。今日のシンポジウムはこれまでの再編が失敗したかのような印象で進んでいますが、多くの場合、再編後の事業で利用者の満足度は高いのではないのでしょうか？アンケート調査のデータなどをもとに議論をしてほしいと思います。
5	子どもはすぐに成長してしまう。すぐ適応してしまいます。今、ここにおいて、日々そだっている子どもが未来です。すぐに投票権をもつことになります。スピード感をもった対応をどうかお願いいたします。
6	本題とは外れますが、大学教員のお二人が「先生」と呼び合っておられることに違和感を覚えました。シンポジウムの登壇者はみなさんそれぞれの分野の知見を持ったエキスパートです。「さん」と「先生」が混在する壇上は、平場であるべきシンポジウムには相応しくないように思います。研究者に敬意をはらうことにやぶさかではありませんが、このような場に関わってくださる研究者の方々には、少しお考えいただければと思います。
7	中高生の居場所はゆう杉並。7地区に配置してほしいです。中高生の居場所が足りません。宜しくお願いします。
8	杉並区は子どもをどうしたいのか？遊びから学ぶことは多いのに、管理された居場所を増やし（放課後等居場所）、自主的に遊び体験できる児童館は減らしてきた。これからどうするか？方針はそのままなのか？全廃計画は止めるのか？まずははっきりさせてほしい。
9	児童館再編反対、みたいな主張をしに来られた方が多いですね。私は再編は成功しているという派ですが、とてもここでは発言できません。偏ってます。対話できそうにありません。
10	最上さんの真摯な説明が、信頼を作る一つのきっかけになると思いました。
11	「機能移転」と言うからいけないのかも？児童館と放課後居場所は同じ規模や人や仕組みではないし両方望むのは贅沢だと言われてしまうかもしれませんが、区内の現状の子ども居場所は狭くて時間で区切れすぎで貧弱すぎます。もっと多く自由であるべきです。主権者教育としてまちづくりやるべき。投票率低い世代は学習的無気力を感じておりこの壁は高いです。――亀山さん、小松崎さんの意見毎回実感あり共感できます。素晴らしいと思います。
12	施設再編の結果、廃止された地域の住民の声こそ聞きたいです。児童館がなくなり、学童クラブではトラブルが増えたと聞きます。詰め込みも問題の上に、場所も職員もそう入替されたこの二年で何か起こったのか。検証されたのか？
13	財政的な検証は、区のすべての事業のバランスの中でどこにポイントを置くのかという発想で考えるべきであって、施設の話の中だけで考えるべきではないと思いますが、どう考えていますか？国もそうですが、区の事業でも、都市開発や道路開発については財源の話が出てこないのに、福祉や教育については財源の話が持ち出されるのはおかしいと思います。それから、下高井戸児童館、天沼と本天沼地域の再編やこれから予定されている再編について、今日のシンポジウムの議論の枠内に含まれないのはなぜなのでしょう？そこは、当事者である住民にとっては死活問題です。切り分けては考えられません。本気でその点は考え直してほしいです。
14	今現在「区としてビジョンを示す必要がある」と言っていて、その内容を言えないという現状が、施設ありき、ハコありきの今までのやり方の結果だと思いました。行政の部課長さんたちは、謝ったら死ぬ病から脱却してほしいです。児童館廃止は間違いでした、機能移転は無理でした、を認めるところから始めませんか。
15	ゆうゆう館について最上さんの意見はわかりましたが児童館はどうですか？

NO	内容
16	いきなり課題、要望を拾い上げるための意見交換を行うのではなく、議論の前提条件となるデータ（施設の稼働率や利用者の年齢層、属性、満足度など）をわかりやすく公開してはどうでしょうか。意見交換会は、データや実態に基づかない印象論や声の大きい一意見で終わってしまえば根拠に欠け、次の展開に繋がらないと思います。
17	「今まではこうしてきました」との言い方から、これからは変わるのかなと期待が持てますが、予算不足や地域のニーズがあったからとの理由で良心的なNPOや地域ボランティア頼みの丸投げにならないように公共と地域が協力して進めてほしいです。
18	こんなワークショップなら、ではなく、問題はテーマでは？
19	廃止された西荻北児童館エリアでは、子どものボール遊びの場所もなくなってしまった。低学年に原っぱ公園は遠い。関根公園ではボールは使えず、110番通報されてしまう。水土日の校庭開放も廃止され、わずかに日曜午前だけ遊び場が継続したが、圧倒的に遊び場が足りなく困っています。放課後居場所は歓迎の声もあるが、児童館の代替にはなっていない別事業だとはっきりした。児童館に代わる子どもの居場所を至急作ってほしい。これまで何度も区役所に足を運んだがまともに取り合ってもらえなかった。対立したいわけではないが、対話できなかった過去をどう見直せるか、過去を無視せず向き合ってほしい。
20	今日の会は参加者全て大人でした。意見交換会でも申し上げたのですが、子ども達が話し合える場を是非実現していただけたらと思います。子ども達だけの会、大人と一緒にの会など、実現できると良いと思います。
21	「何々すべき」や「何が必要だ」といった言い回しではなく、行政・区民がそれぞれの立場でどうして行きたいか、そういったことをオープンに話が出る場所を（リアルな場はもちろんオンライン上も含めて）まずは定期的に作ってほしい（小規模なものから）です。自分が暮らすまち、自分が働くまち、悪くなった方がよいと思う人はいないと思います。
22	最上課長のコミュニティふらっとへの認識は正鵠を得ています。このスタンスで進めていきたいと思います。
23	施設の利用料が高すぎます。例えば区在住子ども団体の集まりは無料にするなど柔軟に対応してほしいです。
24	今回の7地域での意見交換会は、讃岐先生の言う「ワーク」だったと理解してよいのでしょうか？だとすると、今回の意見交換会のワークは何に反映されるのでしょうか？成果の「的」は設定されていたのでしょうか？「領域」を絞った議論の成果を、どこに反映するか。それを示すのは貴重な時間を割いて議論の場に来てくれる方々への最低限の礼儀。と資料にあります。区の開催するワーク（意見交換会など）ではいつも、この成果の「的」がどこに設定されているのか、どこに反映するかが事前に示されていないのが問題だと思います。これから開催する会ではぜひ変わってほしいと思います。
25	学校内学童、放課後居場所も維持しつつ子どもがもっと自主的に関わって作って動かす仕組みの児童館も維持して欲しいです。二者択一にせず多様な選択肢を。子どもに政策的にもっと手厚く予算や場所を与えて欲しい。地域NPOに指定管理者を任せて積極的に地域にお金を回していく。NPO&区民を育てていくのを優秀な区職員とやっていきたいですね。
26	再編後の施設は、より幅広い方々に利用していただく必要があると思いますが、各施設をよく利用し馴染みがある人と、全く知らない、またはあまり関わりたくない、という人がいることも事実です。例えば、ゆうゆう館→コミュニティふらっとへの再編でいえば、多世代交流の場となることで、その地域住民が活発に利用して活き活きと暮らせることにつながっていくことが大事ではないか、と思います。そうなるためには、再編後の施設が目指す姿、言い換えると、ワクワクするようなビジョンを、区民に広く知らせていくことが大事だと思います。それは利用者向けだけでなく、各現場で働いている人に向けても必要だと思います。
27	こうした問題を扱うために、ノウハウをもっている定年退職の行政職員を外部団体を作って情報収集や信頼関係の構築などを実施する部隊が必要だと思います。
28	どこに的を絞って再編を考えるべきか。この地域にこの施設、という決め手、めやすはどこから拾っていくべきか。ヒントが欲しいです。
29	抽象的な方法論を論じている場合ではない。阿佐ヶ谷や西荻などの具体的な問題を具体的にどう解決するのを考えながら構築していくものである。
30	中央図書館のウッドデッキおよび隣の読書公園で、素敵な催しはまだできないと思います。そういう提案、活動はどこにどう提案したら、実現するのか。他の活動もそういう区民の思いがどう、届いて、どう活動につながるのか、なんか手掛かりが欲しいです。
31	「単身」「歩ける距離」「長寿命化」とか考えて「環境配慮」対策もやる、という区長の公約も多層型で組み込んで欲しいです。建物だけでなくみどり（広場、居場所）も入れてください。一人で気軽に無料で立ち寄れる緑地エリア欲しいです。「お祭りある地域は防犯や防災が高い」と生活の中で実感しています。施設をトコロテン方式で押し付け合うとかいきなり学童無くすと地域が分断されてノウハウが継承されなくなって（コロナもあり）地域が壊れているの非常に残念です。ハコじゃなくて人の居場所だったんです。子どもを經由してオトナも繋がってるんです。保育園も通ってる時だけでなく幼い頃できたママ友ネットワークって受験期とかにも結構機能してたりします。
32	過去をなかつたことにはできないという区長の言葉は大事です。それでは廃止された児童館はどう補償されるのでしょうか？

NO	内容
33	説明会という呼称をやめるのに大賛成。呼称にしる内実にしる、区民が忙しい中にも参加したい、参加せねばと思えるような意見交換会であればと思う。また、子供のように自分の意志だけでは中々参加できない人たちの意見を吸い上げるアプローチも欲しい。
34	区長から説明会を無くして、意見交換の場を多くとの姿勢はとても大事だと思います（いままでは、説明会の実績だけで形だけ）。①行政の方は、2～3年で変わられてしまうがプロジェクトが完成するまで、継続して対応ができればと思います。②「わくわく」はとても大事だと思います。自治会活動では大人を引き出すために、子どもを入れてのイベントを計画しています（行政が少しだけ応援していただくことは大変ありがたいと思います。青少年善行表彰制度など）。
35	ここでの話し合いで何をしようとしているのかわからない。コミュニケーションについての研修なら職員相手をお願いしたい。聞いているのがつまらなくなってきました。
36	ゆうゆう館とコミふらは別物だし、児童館と放課後居場所事業は別物です。機能移転「できてる」という考え方をまず見直すべきかと思いますが、区の方はどう考えますか？そこはきちんと検証してもらえるのでしょうか？
37	行政マンが持っている、ノウハウや信頼関係が退職や転勤で失くなってしまふのは勿体ない。こうしたものが生かせる外部団体があればよいのに。
38	わくわく、ふらっと、etc. 素晴らしいです。（地域コミュニティ、学童、etc.）区民主体、地域主導の、区民施設、再編。北区では、子どもわくわく課が、あります。そして、学校改築の際に、施設の、複合化を、進めています。文教区には、まなび、という、学童が、あります。（放課後児童クラブ）世田谷区には、ポートという、障害者が、立ち寄れるスペースが、各地に、あります。
39	パネラーの中で唯一メモを取って意見等を聞いていらっしやる岸本区長に好感が持てました。頑張ってくださいね。
40	今ある区の仕組みを活用すればできそうな事もあると思うのですが、縦割りではなく、区全体を見渡す部署は何処になりますか？
41	意見交換会で出た「7地域でなく徒歩エリアや学区」という意見、「世帯でなく個人」対象で考えて、という意見が重要と思います。その点を最上さんはどう実現しますか？区長は区内小学校や大学で同じようなワークショップをやってますよね。素晴らしいと思う。これをもっと継続して欲しいです！区職員が出かけていくの賛成です。教科書で道徳や生活を学ぶより住んでる地域の問題に気づいてもらう機会だと思います。
42	質問ではありませんが・・・このような場に初めて参加しました。区長選、あんなに盛り上がったから、今日の会場も満員なのかと思ったら、席にゆとりがあり、驚くと共に寂しく感じました。老若男女問わず、住民一人一人が、自分事として、もっと考えていかないといけない、と感じました。
43	児童館問題については、まず順次児童館をなくしていきゼロにするという前区長の方針が問題です。児童福祉の観点から、サードプレイスの意義は大きいです。まず「変えること」は、児童館廃止の方向性をはっきりと止めることが大事です。それがないと、行政と区民が協力して前へ進むことができないのです。
44	多摩市旧北貝取小跡地利活用の説明で、指定管理者が運営するけれども市民や団体が互いに議論する協議会を設置したことや、公募要項にきちんと項目記載したことが参考になりました。杉並区の指定管理のコミふらは、運営協議会の設置をしていませんよね？部屋を借りたりイベントに参加する以外に利用者同士が関わり合うような機会がないと思います。多世代の交流とは具体的にどんなことをイメージしてるのでしょうか？年に数回の館のイベント以外で。ラウンジ（狭い）で対話が生まれるというのはものすごく稀なケースだと思いますが。
45	住民は対決したいのではない。これからも住むのだからむしろ関わりたいのです。区の職員の「学びおろし」が必要かも？優秀な職員だからこそ「間違えない」「挑戦しない」「公平」に気を取られすぎのあまり住民を「説明」や「説得」の対象としてみるよなあ。と残念に思います。今回の意見交換会でも感じました。一方で西荻窪地域では臨機応変な対応もあってちょっと嬉しかったです。
46	区政経営改革担当部長なんていう役職があるのが不思議です。もう少し杉並区民が行政に参画出来る機会があれば、是非参画させてください。
47	施設再編だけでなく、どう上手く使うかという観点も大切。杉並区は設備は充実しているが、使い方のソフトは見直す点が多い。
48	対立の構図を招いたのは前区長であって区民ではない。区民がいくら意見を言っても同じ方向を向いてくれなかったのは区役所だった。
49	初めてこのような双方向型の区政に関わるイベントに参加し、非常に有意義なお話を聞いて良かった。ただ私は40代だが、参加してみても参加者の世代の偏りに驚いた。自分も含めてだが現役世代は仕事や子育てに忙しく、なかなかこのようなイベントに参加できないし、情報収集をする時間も取りづらい。施設再編について今後もまず区民の意見を求めるのであれば、もっと全世代に届くような情報発信をしてほしいのだが、そういったことを検討する予定はあるか。（例えばメルマガ形式での参加者募集など）
50	対話が行き来できる規模、歩いていける距離、顔を覚えてもらえるヒト、が大切だと思います。亀山さんの意見賛成です。

NO	内容
51	区民と一緒に考える事は大切とお互いが思っているなら、その為にどうしたら良いかという事から始めたら良いのでは？どんな杉並に住みたいかを考える場が日ごろから身近にある事が重要だと感じています。
52	設備の問題だけでなく、ソフトをどう変えるか、という問題がある。人口が減り、少子高齢化時代がきているので、学校設備も、生徒だけでなく、付近の住民に利用させたら良いと思うが、どうか。生徒が使わない時間帯は開放したらどうか。
53	資料1 中央図書館のリニューアルは大失敗。レファレンスルームの面積を半減するなど自殺行為。中央図書館は地域資料と参考資料の住民サービスが他の地域館と大きな違い。
54	各地域の事例をふまえて、後半は具体的に地域や施設について話し合ってください。西荻窪、善福寺は区の計画表にすらないのに一方的に児童館やゆうゆう館がなくなってしまって信頼関係が壊れています。区長を変えても区議を変えてもすぐには変わらないという点は理解しつつも、立ち止まる、一歩進める、変える、を議論する時にこの事が喉に引っかかるトゲのようにあるのを知って欲しいです。謝罪と決意表明を具体的に言って欲しいです。
55	児童館廃止をやめることを区長は早く宣言して欲しい。廃止した児童館は復活することも。
56	ビジョンや議論の進め方についてお話が主体となっていて、財政面や雇用面での検証、説明がないのが残念であり、物足りないと感じています。施設再編も区政の一つであることから、お金と人の観点からのアプローチを是非お願いします。
57	施設再編計画は財政改革のために実施してきたとのこと。そうであれば、これまで進めてきた結果、財政的にどんな効果があったのか、区立施設の面積はどのくらい減らせたのかを知りたい。検証作業でも、この点を明らかにすることが必要なのではないか。以上の2点を質問したい。
58	杉並区の職員の殆どが杉並区民ではありません。杉並区のポテンシャルに憧れて杉並区に就職した人です。そういう杉並区の職員の能力をどのように杉並区民に還元するかのプロセスを構築して欲しい。
59	杉並が変わろうとしているって言うが、これまでのことを反省する姿勢をまず示して欲しい。
60	コミュニティふらっとの理念を実践する仕掛けができていない。区民参加のチャンネルがない。このままでは貸館当有料のカルチャーセンターでしかない。抜本的な再構築が必要です。
61	区民と対話して進める方向性は賛成だが、人口減少の中で行政サービスも選択が必要、区役所の対策課レベルとして区民ニーズどう考えていて、何をして行くかオブラートに包まず裸で考えを話すべき。
62	今日のパネラーは、どうやって選ばれたのですか？意見交換会には私も参加しましたが、パネラーへのお誘いはありませんでした。これは、以前の道路問題のシンポジウムでも思いました。
63	讃岐先生、折角ですから、南池袋公園の事例も紹介して下さい。サラリーマン時代勤務地で非常に興味深いです。
64	説明に今後の改築改修経費の試算がありましたが、そもそも少子化、人口減が進み、限られた財源で施設を維持し続けるのは難しいので、長期的な視点では、施設の「たたみ方」を考える必要があると思います。限られた財源を見据えた施設の将来構想（施設の統廃合、売却、稼げる施設への転用、財源増等）はありますか。その際、統廃合や用途転用は既存利用者の合意形成が1番ハードルになると思いますが、「対話」以上の具体的な進め方のイメージがあれば教えてください。
65	財政的（ざいせいてき）検証をまず行って欲しい。どういう訳か財政的（ざいせいてき）が消されるか、違う文字に変えられている！
66	従来の施設再編の財政的検証を行って欲しいと何度も入れているが、「財政的」の文字が消されてしまう。なぜか？
67	今までの再編についての、財政的検証をまず行って欲しい。
68	一つ前の質問の訂正。財政面の検証をまず行った上で、今までの再編をどう評価するか考えるべきではないのか？
69	最上課長の「区からの説明」では、従来の施設再編は「合理性の追求が問題だった」と説明されていた。しかし、その結果財政的に節約できた等を具体的な数字で検証されていない。検証はまずここからではないのか？
70	本日示された公共施設の再編のプロセスは区長が交代しても継続されるのか？今後、区長が変わると全てが変わるのでは意味がないのではないのか？
71	選挙時の公約と実際の区政での対応の差を区長はどのように捉えているか？
72	公共施設の再編は結構だが、これまでの施設で働いていた区民の雇用を奪うことにもなる。事実、ウェルファーム杉並ではパートさんの賃金カットや離職が発生する。このことを区長は認識してどう対応するのか？